



CITY WATCHING

クローズアップ CLOSE UP

笑顔溢れる前橋まつり

10月11日・12日に前橋まつりを開催しました。だんべえ踊りは30周年。会場には大きな「そうだんべえ」の掛け声が響き、まつりを盛り上げました。また、12日のオープニングイベントには市立前橋高吹奏楽部や東京ディズニーリゾート® スペシャルパレードなどが参加しました。



赤城の坂を駆け上がる

9月28日、道の駅まえばし赤城をスタート地点としてまえばし赤城山ヒルクライム大会を開催しました。計測距離18.6km、標高差1,238mという本格的な長距離コースに2,044人が挑戦。当日は熱気に包まれ、多くの参加者と関係者の協力により、盛況で大会を終えました。



道の駅でどうでしょう

9月24日に道の駅まえばし赤城で「水曜どうでしょうキャラバン」を昨年に引き続き2年連続で開催しました。北海道テレビ放送の人気バラエティ番組「水曜どうでしょう」のディレクターとの交流や本市オリジナル企画の豚レースなどを実施。約3,500人が会場を訪れました。



☎ 農政課
027-898-5841



クリスタルドレスを持つ大谷伸二さん

世界の舞台で優勝目指して

11月15日(土)から26日(水)に開催される「東京2025デフリンピック」。デフリンピックとは耳が聞こえない・きこえにくい人のためのオリンピックで、深澤さんは柔道男子81kg級の日本代表選手に選出された。

「柔道を始めたのは幼稚園のとき。兄が柔道を習っていたので自分も自然と始めていました。就職後は柔道から少し離れていましたが、大学の時のコーチや友人からデフリンピックの話があり本格的に再開しました。」
デフ柔道のコーチは県外にしかないため、普段は自主的に練習しているという。

練習に時間を割くことができています」
日常生活では補聴器をつけているが、柔道をしている間は補聴器を外している。「補聴器を外すとコーチの音が聞こえにくかったり、タイマーの音がわからなかったりしますが、柔道は相手を見て動くのでそこまで大変ではありません。けがで苦労することの多いです」
デフリンピックの日本代表選手として内定したときは、喜びよりも優勝しなければという責任を感じたという。

市民に伝えたいことを尋ねると「応援よろしくお願いします」と笑顔で話してくれた深澤さん。出場する柔道男子81kg級は11月17日(月)に東京武道館で開催される。



受賞したクリスタルドレス

旬な農産物や生産者を紹介するこのコーナー。今回は上細井町でバラを栽培する大谷伸二さんを紹介します。
今年の1月下旬から2月上旬まで開催された関東東海花の展覧会で、大谷伸二さんのバラ「クリスタルドレス」が最高賞の農林水産大臣賞を受賞しました。この展覧会は、花への理解を深め、花の消費拡大を目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する国内最大規模の花の展覧会です。

と、強い香りが特徴のバラ。大谷さんは、このバラで3年連続の最高賞を受賞しています。
現在、全11品種のバラを栽培する大谷さん。昨今の急激な気候変動を受け、特に温度管理と湿度管理に気を付けて栽培しています。「良いバラを栽培するために、まずは自分自身が季節を感じることを意識しています」と大谷さんは語ります。

市場や花屋の需要にも気を配りつつ、まずは自分が作りたいと思うバラを栽培するそう。栽培するバラを選ぶときは、見た目と香りの第一印象を大事にしています。
就農して今年で27年目。「今後はバラをもっと身近な存在にしたい。そのためにはさらにハウスを増やし、人材育成にも力を入れていきたいです」と大谷さん。大谷さんの理想のバラを追い求める挑戦はこれからも続きます。